

科目名	キャリアプランニング 2							年度	2025
英語科目名	Career Planning 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	柿崎光	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アーティスト活動、マネジメント		
【科目の目的】									
キャリア全体に役立つ共通スキルを習得しつつ、初期段階では音楽業界にフォーカスする。セルフプロデュースやアーティストとしての自己PR、プレゼンテーションスキルを学び、音楽スキル以外にも情報収集力や人脈構築、社会での自立意識を身につけることを目指しています。授業はグループワーク等も行い、学生が司会やプレゼンを行うなどアクティブラーニングを重視し、能動的な参加を促す。									
【科目の概要】									
この講義では、音楽業界で働く為の最低限のルール、業界のルールを道徳的な観点から学生に伝えていく。ミュージシャンとしてスキルを上げるだけではなく、「人」として信頼される礼儀作法や、マナーを指導する。一般常識や、時事問題などを学生に意識をさせ、世の中の情勢も音楽家として大切であることを伝える。学生が何に悩み、何を今考えているのかを把握し、学生指導に役立てている。自分の考えを文字として書くことを習慣化させ、就職活動において履歴書に記述することに抵抗を持たない学生を育てることも主眼としている。									
【到達目標】									
A. ロジックに基づいた文面を考案することができる B. アーティストとしての自己PRが学外関係者に対してできる C. クラスで団結してひとつの演目を作ることができる。									
【授業の注意点】									
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。職業訓練とは、2年後の自分自身の生きる糧・力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標 A	ロジックに基づいた文面を考案することができる		文面を考案することができる		到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標 B	アーティストとしての自己PRが学外関係者に対して深くできる		アーティストとしての自己PRが学外関係者に対してできる		到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標 C	クラスで団結してひとつの演目を作ることに貢献できる		演目を作ることに貢献できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】									
適時プリントを配布									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づき、進級公演の参加を以て評価をする									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

